

OKAMURA REPORT

第81期 中間報告書 2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日 証券コード：7994



okamura

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第81期中間報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、政府・日銀の財政政策や金融緩和、企業業績の一層の向上への期待などを背景に、個人所得・雇用環境が改善されるとともに、設備投資の動きが活発化するなど、明るさが見られました。しかし一方では、中国経済の減速をはじめとする海外景気の下振れリスクの影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況は払拭されずに推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、



代表取締役会長
中村喜久男



代表取締役社長
中村雅行

売上高112,114百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益4,574百万円（前年同四半期比36.4%増）、経常利益5,069百万円（前年同四半期比27.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,229百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

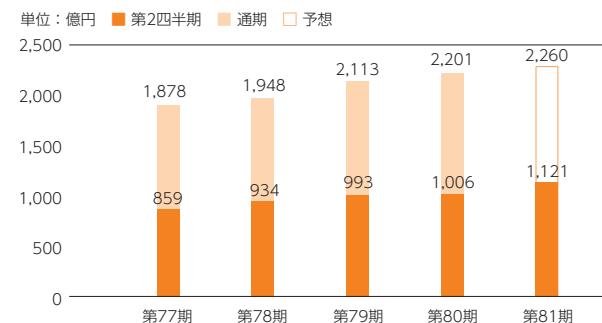
2015年12月

第2四半期連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

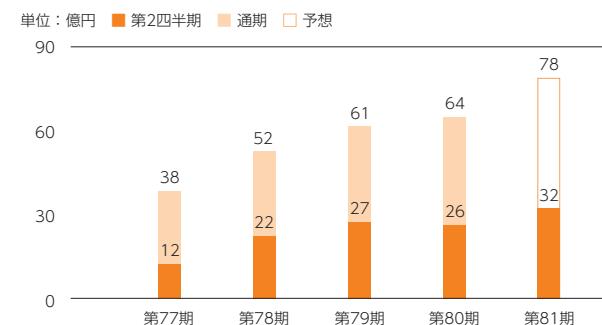
売上高

1,121 億円（前年同四半期比 11.4%増）



四半期(当期)純利益*

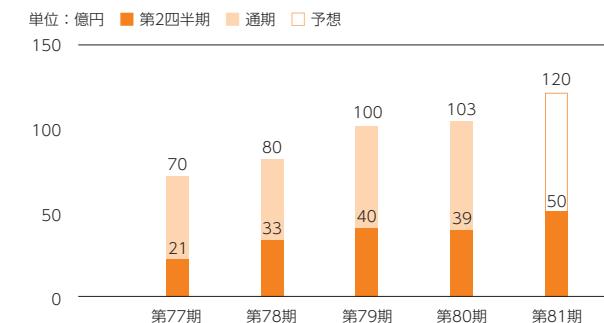
32 億円（前年同四半期比 23.3%増）



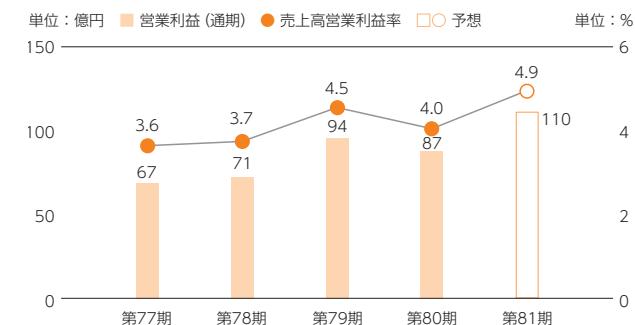
* 四半期(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を表します

経常利益

50 億円（前年同四半期比 27.6%増）



売上高営業利益率



5月 ●「2015年ミラノ国際博覧会 (ミラノ万博) 日本館」協賛
●OKAMURA Design Space R 書籍「collaboration」出版
●「自治体総合フェア2015」出展

6月 ●「NeoCon 2015」出展 TOPICS 1
●「2016年学習家具新製品発表会」開催

7月 ●「第28回インターフェックス ジャパン」出展
●「第13回OKAMURA Design Space R」開催 TOPICS 2
●「国際モダンホスピタルショウ2015」出展
●「ミカサ」のオートマチック・トランスミッション 機械遺産認定 TOPICS 3
●「第1回全国ファーマシーフェア」出展

8月 ●オカムラ流通セミナー (東京) 開催
●「オフィスはもっと楽しくなる はたらき方と空間の多様性」出版 TOPICS 4

9月 ●「JASIS2015」出展
●「中国国際家具展 (CIFF)」出展

FIRST HALF TOPICS

TOPICS 1 世界最大級のオフィス家具見本市

「NeoCon 2015」出展

6月15日～17日の3日間、アメリカ・シカゴにて開催された「NeoCon 2015」に、8回目の出展をしました。上下昇降デスク「SW」(日本名「Swift (スイフト)」)やオフィスシーティング「plimode」(日本名「mode (モード)」)などを展示しました。HOK Product Design®, LLC*デザインのカンファレンステーブル「traverse (トラヴァース)」は、Best of NeoConのConference Room Furniture Gold Awardを受賞しました。また、昨年に続けてヘルスケア製品「Ipsia (イプシア)」なども紹介しました。

* HOK Product Design®, LLC: アメリカ合衆国の組織系建築設計事務所、世界で3番目に大きな建築設計事務所であるHOKのプロダクトデザイン部門



カンファレンステーブル「traverse (トラヴァース)」



TOPICS 3 「ミカサ」のオートマチック・トランスミッション

日本機械学会「機械遺産」に認定

7月24日、オカムラが開発した日本初のトルクコンバータ式オートマチック・トランスミッション車である「ミカサ」に搭載した1951年開発のトルクコンバータが「機械遺産」に認定されました。「機械遺産」は、歴史に残る機械技術遺産を大切に保存し、文化遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術に関わる歴史的遺産を一般社団法人日本機械学会が認定するものです。「ミカサ」のオートマチック・トランスミッションは、保存状態などが評価され、「Collection: 保存・収集された機械」分類での認定となりました。

オカムラ製 オートマチック・トランスミッション「ノークラッチOKドライブ」



1958年発売のスポーツモデル「ミカサツーリング」

TOPICS 2 建築家ともう一人の表現者の協働による新しい空間

第13回OKAMURA Design Space R 「雲の椅子の紙の森」開催

7月13日～31日、ガーデンコートショールームにて第13回OKAMURA Design Space R「雲の椅子の紙の森」を開催しました。OKAMURA Design Space Rは「建築家と建築以外の領域の表現者との協働」をコンセプトに毎年1回開催するものです。今回は建築家の藤本壮介氏、その協働者に照明デザイナーの戸恒浩人氏を迎えました。



Profile



建築家 藤本 壮介氏

2000年藤本壮介建築設計事務所設立。2005年を皮切りに若手建築家の国際的な登竜門であるAR awardを3年連続で受賞し一躍注目を浴びる。代表作: サーペントライン・ギャラリー・パピリオン2013、House NA、武蔵野美術大学図書館、House Nなど

Profile



照明デザイナー 戸恒 浩人氏

2005年シリウスライティングオフィス設立。代表作: ホテル日航東京 ルーチェ・マーレ、東京スカイツリー®、ICC Light&Music show、ヒルトン東京ベイ、日本経済新聞社東京本社ビル、ユニクロ心斎橋など

TOPICS 4

はたらく人のダイバーシティ化が進む中での「はたらき方の多様性」とは

書籍

「オフィスはもっと楽しくなる はたらき方と空間の多様性」出版

8月31日に書籍「オフィスはもっと楽しくなる はたらき方と空間の多様性」(オフィス研究所 花田愛、森田舞 共著)を出版しました。

近年、少子高齢化が進み労働人口が減るなかで、外国人や高齢者、女性の社会進出の増加など、はたらく人の多様化が進んでいます。書籍では数多くの研究成果をもとに、時代の変化に合わせた新しい環境とはたらき方の多様性に焦点を当て、イラストを中心にわかりやすく解説しています。



事業別セグメントの概況

Performance Results by Segment

オフィス環境事業

Office Furniture



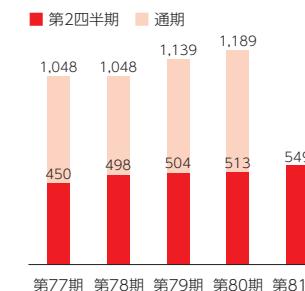
オフィス環境事業につきましては、都心を中心に大規模オフィスビルの供給が増加し、業績が好調な企業を中心としたオフィスの移転需要及びリニューアル需要が増加してまいりました。このような状況のもと、オフィスワーカーの多様な働き方に応えるオフィス環境づくりを積極的に提案するとともに、その提案を実現する新製品投入や医療施設、研究施設、学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動に努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、54,999百万円(前年同四半期比7.2%増)、セグメント利益は、2,891百万円(前年同四半期比53.6%増)となりました。



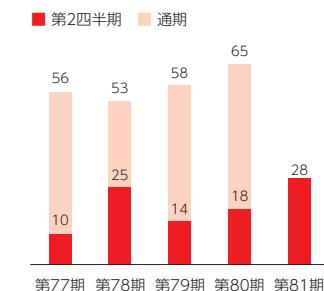
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



商環境事業

Store Displays



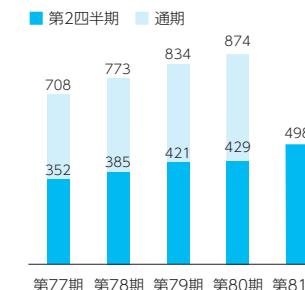
商環境事業につきましては、新規出店、改装を積極的に展開する小売業界に対し、総合力を活かしたワンストップ・トータル提案を強化するとともに、冷凍・冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に注力してまいりました。特に、顧客の競争力向上に向けた改装需要の高まりに対し、既存店での高シェアと国内生産による短期対応を活かし、順調に売上を確保したことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、49,894百万円(前年同四半期比16.2%増)、セグメント利益は、1,962百万円(前年同四半期比24.1%増)となりました。



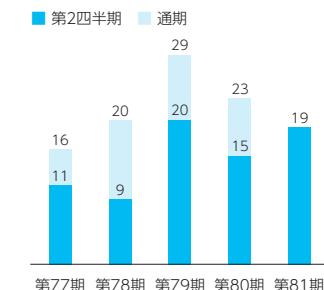
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



その他(物流機器事業他)

Material Handling Systems and Others



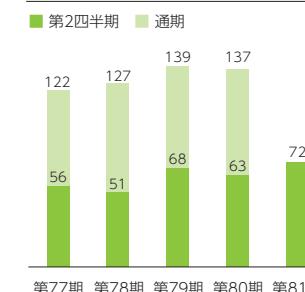
物流機器事業につきましては、食品、医療、通販会社の物流センターなどの有力分野や小物搬送に注力してまいりました。また、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かすとともに、他事業とのシナジーを活かしたトータル受注の拡大に努めましたが、前年同四半期連結累計期間に比べ、損失は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、7,221百万円(前年同四半期比13.9%増)、セグメント損失は、278百万円(前年同四半期は109百万円のセグメント損失)となりました。



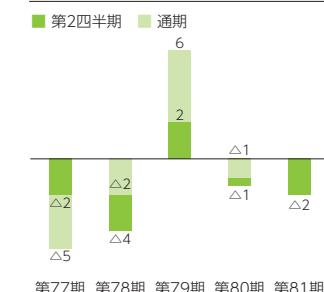
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	100,236	105,247
現金及び預金	30,365	24,021
受取手形及び売掛金 1	49,643	60,898
商品及び製品	10,212	10,163
仕掛品	1,564	1,625
原材料及び貯蔵品	4,211	3,954
その他	4,238	4,583
固定資産	100,825	102,140
有形固定資産	50,346	50,237
建物及び構築物	15,034	15,380
土地	23,522	23,522
その他	11,789	11,333
無形固定資産	5,194	5,046
のれん	280	401
その他	4,914	4,645
投資その他の資産	45,284	46,856
投資有価証券 2	30,907	32,773
その他	14,376	14,083
資産合計	201,062	207,387

POINT

1 受取手形及び売掛金

前期末から11,255百万円減少し、49,643百万円となりました。

2 投資有価証券

時価評価の低下等により前期末から1,866百万円減少し、30,907百万円となりました。

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
負債の部		
流動負債	58,642	65,919
支払手形及び買掛金	26,081	34,209
電子記録債務	15,136	11,123
短期借入金	6,565	6,102
1年内返済予定の長期借入金	2,896	3,126
その他	7,961	11,356
固定負債	37,644	37,923
社債	10,000	10,000
長期借入金	5,049	5,059
退職給付に係る負債	14,211	13,701
その他	8,382	9,162
負債合計	96,286	103,843
純資産の部		
株主資本	93,669	91,382
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,759	16,759
利益剰余金	60,657	58,365
自己株式	△2,417	△2,413
その他の包括利益累計額	10,743	11,796
非支配株主持分	362	366
純資産合計	104,775	103,544
負債純資産合計	201,062	207,387

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益5,071百万円、減価償却費1,942百万円及び売上債権の減少額11,255百万円等による増加と、賞与引当金の減少額968百万円、仕入債務の減少額4,059百万円及び法人税等の支払額2,202百万円等による減少の結果、9,767百万円の資金増加となりました。

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 2014年4月 1日から 2014年9月30日まで
売上高	112,114	100,610
売上原価	79,041	70,545
売上総利益	33,072	30,064
販売費及び一般管理費	28,498	26,711
営業利益	4,574	3,353
営業外収益	745	871
営業外費用	250	251
経常利益	5,069	3,973
特別利益	1	54
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	5,071	4,027
法人税、住民税及び事業税	1,404	961
法人税等調整額	443	478
四半期純利益	3,222	2,586
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△6	△31
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,229	2,618

(単位:百万円)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 2014年4月 1日から 2014年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー 3	9,767	2,118
投資活動による キャッシュ・フロー 4	△2,815	△4,006
財務活動による キャッシュ・フロー 5	△909	△1,697
現金及び現金同等物に 係る換算差額	24	△72
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	6,067	△3,658
現金及び現金同等物の 期首残高	22,808	24,909
現金及び現金同等物の 四半期末残高	28,875	21,251

(単位:百万円)

配当金についての基本方針

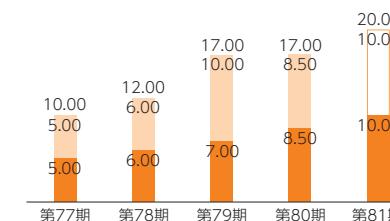
当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

配当金

中間10.0円
(年間20円)

単位:円
■ 中間
■ 期末
□ 予想



4 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得1,691百万円及び無形固定資産の取得662百万円等による減少の結果、2,815百万円の支出となりました。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加額453百万円による増加と、長期借入金の返済による減少額243百万円及び配当金の支払額937百万円等による減少の結果、909百万円の支出となりました。



「これからの仕事スタイル“+Standing”

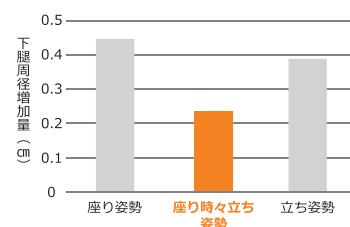
オカムラでは、「健康」「効率」「交流」のアップをめざし、仕事の中に立ち姿勢を取り入れる新しい働き方“+Standing”の仕事スタイルを提案しています。

オフィスワークは座り姿勢が基本ですが、「座り過ぎ」により体重増加・肥満、血行不良などさまざまな健康リスクが高まるという研究成果が世界で報告されています。日本人が平日に座っている時間はある研究では1日7時間。この「座り過ぎ」の対策として、エルゴノミクスに基づいたイスやデスクづくりに取り組んできました。2015年に発売した上下昇降デスク「Swift（スイフト）」もその一つです。社員の健康を考える企業が増え、企業の立ちデスクへの関心は広がっています。

姿勢を変えて「立ったり座ったり」するといいコトいろいろ

仕事を行う姿勢が身体に与える影響を検証した労働科学研究所との試験によれば、立ったり座ったりを繰り返す「座り時々立ち」は「座りっぱなし」や「立ちっぱなし」に比べて、眠気、足のむくみ、疲労が同等かそれ以下に抑えられることがわかりました。

仕事姿勢による足のむくみ比較



※作業開始から120分後の時点における比較
出典：公益財団法人 労働科学研究所調べ

マニユライフ生命保険株式会社 本社オフィス

マニユライフ生命保険株式会社は、移転をきっかけに「Work Smart」をコンセプトにオフィスでの働き方の改革に挑戦しました。その改革の一部として健康増進の効果を意識し、全社員にSwiftを採用。自分にあったスマートな働き方をサポートしてくれると好評です。座位・立位の使い分けは健康を増進すると同時にコミュニケーションの活性化や仕事の効率アップにつながるなど、姿勢を変えて働くことの効果が出ています。

DATA

所在地
東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー10・11・30・31F

会社情報 (2015年9月30日現在)

Corporate Data

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	4,900名

所有者別株式分布状況



主要な事業内容

■ オフィス環境事業

オフィス家具、公共施設用家具、研究施設用家具、金庫・貸金庫、防水板、防犯設備、SOHO家具、移動間仕切、収納型間仕切などの製造・販売及び据付・内装等の請負工事

■ 商環境事業

店舗用商品陳列棚、冷凍・冷蔵ショーケース、店舗カウンターなどの製造・販売及び据付・内装工事・店舗保守サービス等の請負

■ その他（物流機器事業他）

工場・倉庫用物品保管棚、物流自動機器・装置の製造・販売及び据付等の請負工事、産業車両・建設機械用流体変速機の製造・販売及び当社グループ所有の不動産の賃貸

会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	2,939名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	8,415	7.63
オカムラグループ従業員持株会	6,476	5.87
三菱商事株式会社	6,300	5.71
明治安田生命保険相互会社	5,437	4.93
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
三井住友海上火災保険株式会社	5,295	4.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	4,949	4.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,805	4.36
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協会の持株会	3,692	3.35

(注) 持株比率は、自己株式 (2,062,904株) を控除して計算しております。

取締役及び監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役会長	中村 喜久男	
代表取締役社長	中村 雅行	
専務取締役	牧野 広司	オフィス営業本部長
専務取締役	佐藤 潔	管理本部長
専務取締役	岩下 博樹	マーケティング本部長
常務取締役	菊池 繁治	オフィス営業本部首都圏営業本部長
常務取締役	岩田 寿一	ヘルスケア事業本部長
常務取締役	土志田 貞一	企画本部長
取締役(社外)	衣川 潤	三菱商事代表取締役副社長執行役員金属グループCEO
取締役(社外)	海老名 健	
取締役(社外)	飯塚 延幸	三菱地所顧問、㈱東京交通会館代表取締役社長
取締役	小熊 誠次	デザイン本部長
取締役	山本文雄	商環境事業本部長
取締役	中島 章雄	オフィス営業本部関西支社長
取締役	金子 肇	海外営業本部長
取締役	山木 健一	生産本部長
取締役	井上 健	商環境事業本部営業本部長
取締役	田尻 誠	物流システム事業本部長
監査役	守分 宣	
監査役	荒谷 克典	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岩本 繁	公認会計士

工場施設

追浜事業所
(神奈川県横須賀市)

富士事業所
(静岡県御殿場市)

㈱関西岡村製作所
(大阪府東大阪市)

鶴見事業所／シーダー㈱
(神奈川県横浜市鶴見区)

砂畑産業㈱
(東京都足立区)

つくば事業所
(茨城県つくば市)

御殿場事業所
(静岡県御殿場市)

㈱山陽オカムラ
(岡山県高梁市)

㈱富士精工本社
(石川県能美市)

杭州岡村伝動有限公司
(中国浙江省臨安市)

高島事業所
(山形県東置賜郡高島町)

中井事業所
(神奈川県足柄上郡中井町)

㈱エヌエスオカムラ
(岩手県釜石市)

Siam Okamura
Steel Co., Ltd.

(Bangyaprak, Phrapradaeng,
Samutprakarn, Thailand)

東莞誠美家具有限公司
(中国広東省東莞市)

関係会社

㈱関西岡村製作所

㈱オカムラ物流

㈱オカムラ サポート アンド サービス

㈱エヌエスオカムラ

㈱山陽オカムラ

㈱エフエム・ソリューション

㈱ヒル・インターナショナル

シーダー㈱

㈱富士精工本社

セック㈱

㈱Td Japan

㈱オカムラ ビジネス サポート
砂畑産業㈱

Okamura International
(Singapore) Pte Ltd

上海岡村家具物流設備有限公司

Salotto (China) Limited

Siam Okamura Steel Co.,Ltd.

Siam Okamura International Co.,Ltd.

杭州岡村伝動有限公司

(他15社 合計34社)

主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム (東京都千代田区紀尾井町)

オカムラ 仙台ショールーム (仙台市青葉区花京院)

オカムラ 名古屋ショールーム (名古屋市中村区名駅)

オカムラ 大阪ショールーム (大阪市北区大深町)

オカムラ 福岡ショールーム (福岡市博多区博多駅前)

オカムラ Visplayショールーム (東京都千代田区内神田)

オカムラ いすの博物館 (東京都千代田区永田町)

▶ インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。

オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ

検索

株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会

6月下旬

基準日

3月31日

公告掲載新聞

日本経済新聞

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

〒220-0004

横浜市西区北幸二丁目7番18号

TEL : 045-319-3401 (代)

